

防災まちづくりフェアを開催します

今年もまた大会主催による「大森中・蒲田・稲谷地区防災まちづくりフェア」を開催します。当フェアも4回目を迎え、会の活動報告に加えて、災害に対する心構えや、災害発生時に身を守る基本について考えます。

また、児童館を通じて募集した「防災まちづくりポスター展」、期限切れ間近の備蓄食品のおいしい食べ方などに取組みます。たくさんのご来場をお待ちしております。

第4回 大森中・蒲田・稲谷地区

防災まちづくりフェア

11月29日(土)

12:30 開場 13:00 開始
(15:30 終了予定)

会場 東蒲小学校

※雨天の場合は内容を一部変更します。

参加
無料

◇当会の活動報告 13:05~13:10

◇講演

「わたしのまちはどうなるの？」

災害シミュレーション」 13:10~13:45

宇治田 和 (ランドブレイン(株))

大地震がおこったときのまちの様子を見て、被害を減らし逃げないですむまちづくりを考えます。



簡単クッキング・備蓄食品を おいしく食べてみませんか

家庭科室：14:00から

期限切れ間近の備蓄食品のおいしい食べ方を考えます(調理・試食体験)。

児童防災まちづくりポスター展

校舎1階廊下

「防災まちづくり」をテーマに、児童の皆さんにポスターを描いていただきました。

建替え相談会

体育館：14:00から

建替えの進め方(設計、助成制度など)を、一級建築士のかたに相談できます。

大災害にそなえて!

自分の身を守ろう!

校庭：14:00から

大災害時の一連の活動を体験します。

《メニュー》

- ★起震車で地震体験
- ★煙ハウスで避難体験
- ★119番への通報のしかた
- ★消火器の使い方
- ★投てき水バックで消火体験
- ★ロープや三角巾の使い方



このほか、いろいろあります。
参加賞、景品もあるよ!!

蒲田地区タウンウォッチングを行いました

去る8月23(土)の午前中、蒲田地区のタウンウォッチングを行いました。これは西稲谷地区、大森中地区に引き続き、自分たちのまちを歩いて、まちづくりにいかしていこうというもので、普段何気なく自転車や徒歩で通るまちなみを、約2キロまわりました。

見慣れた風景も、防災の視点を持ってあるいてみると、様々なものが見えてきます。「こんなところに電信柱があった。」「新築時にセットバックされていた。」「ここは火災時に消防自動車を通れるか?」など疑問や意見が交わされました。



住宅はセットバックしていても、電柱はもとのままの場所がありました。



狭い路地の奥に住宅が密集しているところがありました。



製麺所で災害時の協力体制についてお話を伺いました。



出発地に戻って、見てきたことを確認し、私たちが取り組めることを議論しました。

主な視察内容

- ・一時集合場所(東蒲田二丁目公園、北野神社など)
- ・道路(狭い道路、隅切り、呑川沿いなど)
- ・住宅が密集したところ
- ・災害時に協力体制がある製麺所



東蒲田二丁目公園には防火水槽がありましたが、無法駐輪の自転車を取り囲まれていました。

タウンウォッチングで感じたこと

狭い道路などについて

- ・幅4mの道路でも、電柱が残っているので有効幅員が3mしかなかった。
- ・以前は建物があったところに、互いに土地を譲り合って道路が広がっていた。
- ・自動車も通れず、引っ越しにも困りそう。
- ・狭い私道が入り込み、災害時の危険を感じた。

一時集合場所など

- ・公園の防災倉庫だけでなく、神社の御輿倉庫にも防災関係で利用できる品物の備蓄があった。
- ・自転車の無法駐輪が目についた。
- ・呑川沿いの公園は、川の水が使えるので火災時に役立ちそうだ。

地元の交流、周知

- ・製麺所の災害時の食料粉提供は地域の人が安心するだろう。
- ・小学校にも当会のポスターがあった。
- ・新しい住宅に入居した人々にどうやってコミュニティに入ってもらうかを検討しないといけない。